

北海道原水協 ニュース

原水爆禁止北海道協議会 Eメール hokkaidogensuikyo@pearl.ocn.ne.jp
電話011 (747) 7557 fax011 (747) 7537 発行/2021年1月27日

日本政府に迫ろう 私たちの声と行動で

オブザーバー参加でなく、署名に批准して 日本政府は第1回締約国会議に締約国として参加を

核兵器禁止条約が発効した1月22日、発効を歓迎し、条約に批准する政府をと、コロナ感染拡大の深刻化、厳しい寒さ、大雪の中ですが、道内各地で行動が繰り広げられました。北海道民医連の提起に呼応して、コロナ禍の最前線で奮闘されている医療従事者がスタンディング行動や署名チャレンジに取り組みました。新婦人北海道本部は全道の支部・班でお祝い行動をと呼びかけました。北海道農民連の事務所の窓には、新しい署名のポスターが貼ってあります。

北海道原水協は14時からJR札幌駅南口広場でリレートーク&スタンディング行動。原水協代表理事の三



上友衛道労連議長、石岡伸子新婦人道本部会長、尾張聡高教組委員長はじめ各団体（共産党、北商連、札幌地区労連、非核の会、民青）を代表して8人がリレートークしました。50人余りの参加者はこれまでの運動に確信と誇りを持ち、横断幕、原爆パネル、署名ポスター、タペストリー、折り鶴、新しいのぼりなどを掲げアピールし、「日本政府に禁止条約への署名・批准を求める署名」の協力を訴えました。禁止条約が発効すること知らなかつ戻ってきた二人連れ的女子高校生が署名にサイン、「協力出来て嬉しい」と笑顔です。



七飯原水協（写真下）は、町役場下の交差点で25枚のプラカードと5メートルの横断幕を掲げて31人がスタンディング。中宮安一町長の写真入りメッセージ（これまでの平和行進、街頭署名行動など草の根の運動を評価）をプラカードに貼って町民に紹介しました。



北広島原水協（写真上）が呼びかけた「核兵器禁止条約発効を記念する北広島市民リレートーク集会」に40人余りが参加。「国民ひとり一人が声を上げよう」と新婦人北広島支部長の開会のスピーチで集会は始まり、共産党、立憲民主、市民ネット、無党派の市議6人が訴え、市民団体「原発といのちを考える北広島市民の会」「西の里・虹ヶ丘9条の会」の代表と浄土宗本願寺派の住職が訴え、最後に市民アピールを採択しました。強風の中でしたが、署名も呼びかけました。





帯広原水協は、新婦人帯広支部の「核兵器禁止条約発効記念お祝い行動」に合同で取り組み、スタンディング、署名行動を行い 34 人が参加しました。新婦人帯広支部長、稲葉帯広市議（日本共産党）、帯広原水協理事長らがスピーチし、禁止条約の発効をお知らせし、日本政府に条約参加を求め運動を継続していくことなど訴えました。

小樽原水協スタンディング 17:00～（写真右）



函館原水協（写真左）は、13 時から本町交差点で 50 人が参加し、発効記念街頭宣伝行動。たくさんの横断幕、新しいのぼり、プラスターで交差点をいっぱい、にぎやかにアピールしました。道行く人からは「発効してよかった」と声をかけられたり、ツカツカと寄ってきて署名する方、順番を待って署名する方も。リーフレット入りのポケットティッシュも 100 人近くが受け取っていきました。道新と函館新聞（記者が署名にサイン）が取材に。

苫小牧原水協（写真右）は、新婦人苫小牧支部と一緒に、苫小牧市役所前で核兵器禁止条約メモリアル集会を行いました。新婦人、苫小牧九条の会、美光九条の会、苫小牧地区労連、ピースプロジェクト、日本共産党から参加した 50 人は、平和を願う何枚ものタペストリーを掲げ、道行く人や車にアピールしました。市役所には、「非核平和都市条例のまち」「核兵器廃絶と平和を願うまち」の垂れ幕が掲げられています。



江別原水協（写真左）は、新しいのぼり「核兵器禁止条約 日本政府も署名・批准を」を立てて、午後 1 時から 16 名が参加、引き続き午後 2 時から新婦人江別支部が会員 13 名プラス応援で市民にアピールしました。もちろん署名の協力も呼びかけました。世界で唯一の戦争被爆国・日本政府は核兵器禁止条約に署名・批准をと意気盛んです！





●釧路原水協は条約発効の前日 21 日 3 時からスタンディング (写真上)。国道 38 号線沿いの新橋大通で、道東勤医協・同友の会、道東勤医労、共産党、新婦人、年金者組合から 15 人が参加してアピールしました。●東区九条の会、新婦人東支部、東区革新懇の 3 団体が共同で、東区民センター前で 13 時から署名宣伝行動 (写真下)。38 人が参加し、「日本政府は条約に参加を!!」横断幕、タペストリー、のぼりなどを掲げ、アピールしました。●「戦争させない西区民の会」は地下鉄琴似駅前前で 25 人が参加して、署名宣伝行動。阿部紘司事務局長らが訴えました。



★全道の支部・班でお祝い行動ぞくぞく・・新婦人北海道本部のニュースから抜粋して紹介します
●札幌中央支部は、地域班全班の 8 班と職場班 2 班から 35 人が参加して、4 力所でスタンディング。行動に参加できなかったけれど、自宅にポスターを貼ったりできることから行動しています。



●岩内支部 (写真左上) は 2010 年岩内の有権者の 10% が核兵器廃絶の署名した記念に会員全員で作り上げたタペストリーを掲げてスタンディングとチラシを配布し、街の方々へ条約の発効をお知らせしました。

●旭川支部 (写真真ん中) は買物公園で 15 人が参加。大きな横断幕が目をはきました。道新と旭川新聞に載りました!

●幕別支部 (写真左下) は国道沿いでたくさんのタペストリーと「会旗」をもってアピール。車からたくさんの人が手を振ってくれました。ツイッターの動画でも発信しています。



●石狩支部は、読書小組の前に支部事務所前で宣伝、6 人が参加しました。禁止条約の発効、新婦人の今までの活動などもスピーチしました。

●士別支部は、5 班 6 人が参加して署名行動と読者訪問行動を行いました。コロナ自粛で久しぶりの行動でしたが、宣伝紙とチラシを渡し、署名は 22 筆集まりました。



●小樽支部は、アーケード街で宣伝署名行動に 7 班 10 人が参加。日本が批准しないのはおかしいと対話になり、署名が 23 筆。事務所と会員宅などに「祝・核兵器禁止条約」のポスターを張ってアピール。

●札幌手稲支部は 10 班 6 人に他団体からも参加し 20 人で宣伝行動。高校生が「核兵器はいらない」と署名するなど、署名が 22 筆集まりました。

